

下総佐倉油田牧跡（香取市）の 国史跡の指定について

国の文化審議会は、令和元年6月21日（金）に、「下総佐倉油田牧跡」（香取市）を史跡に指定することを答申しました。

「下総佐倉油田牧跡」が史跡になると…

○近世牧跡では2件目

下総小金中野牧跡（鎌ヶ谷市）

平成19年2月6日指定

史跡に指定された理由

- 千葉県北東部に整備された佐倉牧のうち北東端に位置し、外周を囲む野馬土手や内部を仕切る勢子土手等の遺構がよく残る。
- 放牧した馬を集める野馬込の構造が、近世の絵図とほとんど変わらない状況で残る。



指定地全景（北東から）



捕込開口部



野馬込跡測量図

墨古沢遺跡（酒々井町）の 国史跡の指定について

国の文化審議会は、令和元年6月21日（金）に、「墨古沢遺跡」（酒々井町）を史跡に指定することを答申しました。

「墨古沢遺跡」が史跡になると…

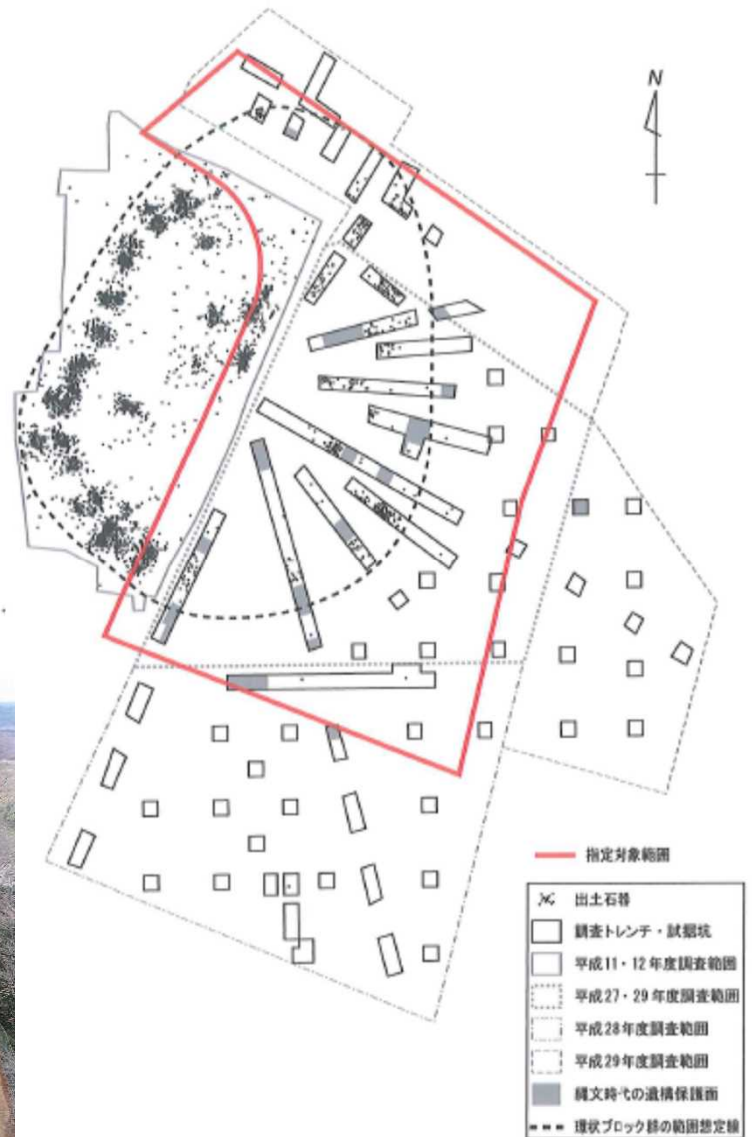
○旧石器時代遺跡では県内初

史跡に指定された理由

- 後期旧石器時代前半期を特徴づける環状ブロック群が残る。
- 南北約70m×東西約60mと日本最大級の環状ブロック群。
- 石器組成や石材組成から、移動や生業等、旧石器時代人の社会の在り方を知ることができる。



環状ブロック群調査区全景



環状ブロック群分布図

史跡内裏塚古墳（富津市）の 国史跡追加指定について

国の文化審議会は、令和元年6月21日（金）に、史跡「内裏塚古墳」（富津市）の一部を、史跡に追加指定することを答申しました。

史跡内裏塚古墳とは…

- 5世紀中葉に築造された、墳長144m、後円部径80m、前方部幅90m、周濠を含めた全長185mをなす、南関東最大の前方後円墳。
- 後円部に竪穴式石室が2基あり、鉄製武具や農工具が出土している。
- 平成14年9月20日、県内23件目の史跡指定。
平成21年7月25日
平成23年2月7日
平成26年3月18日
追加指定

今回の史跡追加指定

- 周濠の一部383.38㎡を追加指定する。
(写真の赤線部分)



内裏塚古墳全景